

令和5年度 社会福祉法人広川町社会福祉協議会 事業報告

【総 括】

少子高齢化、核家族化、ライフスタイルの変化など、地域社会の在り方は大きく変容し、様々な生活課題が顕在化しています。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけは移行されたものの、地域活動の停滞や地域住民同士のつながりの希薄化は顕著であり、加えて、物価高騰の影響により、経済的困窮が表面化するなど、生活課題・地域課題は、益々複雑多岐化しております。

本会は、このような地域生活課題を積極的に捉え、多様な主体による地域福祉活動を推進していくことが極めて重要であると認識し、広川町地域福祉計画・広川町地域福祉活動計画を行動指針とした、令和5年度本会事業計画に基づき、「ふくしのまちづくり」の実現に向け、事業に取り組んでまいりました。

①令和5年7月豪雨災害では、町政始まって以来の甚大な被害が発生し、広川町では初めてとなる、自治体との協定に基づく公設の災害ボランティアセンターの設置運営に取り組みました。また、公設災害ボランティアセンターの設置運営経験を踏まえ、近年頻発する大規模な自然災害において、社会福祉協議会が円滑に被災者の暮らしの復旧・復興支援に取り組むため、災害支援ネットワークの構築を進めてまいりました。

②地域包括ケアシステムの構築・地域共生社会の実現に向けた取り組みといたしましては、介護予防や生活支援に取り組む様々な主体との連携・協働による支援体制の構築を目指し、「買い物支援」「地域の寄り合い活動支援」「住民主体による生活支援」「認知症理解促進・見守り支援」「生活困窮者世帯等支援」を重点施策として取り組んでまいりました。

③在宅福祉サービス事業につきましては、令和5年度事業計画に基づき、介護保険サービス並びに障害福祉サービスにおける訪問介護事業を、令和5年9月末日付で事業廃止手続きを行いました。町介護予防事業と合わせて、総合的な在宅福祉サービスを提供する組織として、今後も、地域に根差した介護サービスの創造に引き続き取り組むとともに、更なる生活課題の解決に向けて、新たな福祉サービスの創設に取り組んでまいります。

本会におきましては、今後とも、引き続き、広川町の福祉の更なる充実・発展のため、役割を積極的に捉え、多様化する福祉ニーズ、その他あらゆる地域生活課題に専門性を持って対応し、福祉サービスの創造、事業推進に努めてまいります。

【実施事業の内容】

1. 法人運営事業

(1) 役員会等の開催

社会福祉協議会の基本的性格としての、非営利性、公共性を重視し、役員及び評議員と連携し、組織体制の強化に取り組みました。

①理事会

回	開催日	議 事
第 1 回	令和 5 年 4 月 28 日（金）	議案第 1 号 社会福祉法人広川町社会福祉協議会職員給与規程の改正（案）について
第 2 回	令和 5 年 6 月 16 日（金）	議案第 1 号 欠員による評議員選任・解任委員会委員の選任（案）について 議案第 2 号 評議員候補者の推薦（案）及び評議員選任・解任委員会の開催について 議案第 3 号 次期理事・監事候補者について 議案第 4 号 令和 4 年度事業報告及び決算の承認について 監査報告 議案第 5 号 評議員会の開催について 報告事項 会長の職務執行状況報告
第 3 回	令和 5 年 6 月 23 日（金）	議案第 1 号 会長、副会長の選定について
第 4 回	令和 5 年 8 月 25 日（金）	報告事項 ①令和 5 年 7 月豪雨災害に伴う本会の被災状況について ②災害ボランティアセンターの設置・運営状況について 議案第 1 号 役員等の報酬支給規程の改正について 議案第 2 号 令和 5 年度第 1 次補正予算（案）について 議案第 3 号 評議員会の開催について
第 5 回	令和 6 年 3 月 6 日（水）	報告事項 ①会長の職務執行状況報告 ②災害ボランティアセンター報告 議案第 1 号 欠員による評議員選任・解任委員会の選任（案）について 議案第 2 号 評議員候補者の推薦（案）及び評議員選任・解任委員会の開催について 議案第 3 号 令和 5 年度第 2 次補正予算（案）について 議案第 4 号 令和 6 年度事業計画（案）について 議案第 5 号 令和 6 年度予算（案）について 議案第 6 号 評議員会の開催について

②評議員会

回	開催日	議 事
第 1 回	令和 5 年 6 月 23 日（金）	議案第 1 号 次期理事・監事の選任（案）について 議案第 2 号 令和 4 年度事業報告及び決算の承認について 監査報告
第 2 回	令和 5 年 9 月 20 日（水）	報告事項 ①令和 5 年 7 月豪雨災害に伴う本会の被災状況について ②災害ボランティアセンターの設置・運営状況について 議案第 1 号 役員等の報酬支給規程の改正（案）について 議案第 2 号 令和 5 年度第 1 次補正予算（案）について
第 3 回	令和 6 年 3 月 26 日（火）	報告事項 ①災害ボランティアセンター報告 議案第 1 号 令和 5 年度第 2 次補正予算（案）について 議案第 2 号 令和 6 年度事業計画（案）について 議案第 3 号 令和 6 年度予算（案）について

③監査、検査

回	開催日	内 容
第 1 回	令和 5 年 5 月 22 日（月）	令和 5 年 1 月～3 月分検査、令和 4 年度決算監査
第 2 回	令和 5 年 11 月 30 日（木）	令和 5 年 4 月～6 月分検査
第 3 回	令和 5 年 12 月 14 日（木）	令和 5 年 7 月～9 月分検査
第 4 回	令和 6 年 2 月 19 日（月）	令和 5 年 10 月～12 月分検査

④評議員選任・解任委員会

回	開催日	議 事
第 1 回	令和 5 年 6 月 19 日（月）	議案第 1 号 評議員の選任（案）について
第 2 回	令和 6 年 3 月 22 日（金）	議案第 1 号 評議員の選任（案）について

（２）社会福祉法人の公益的取り組みの推進

社会福祉法人の公益的取り組みとして、複雑化・複合化する地域生活課題の解決に向けて、社会福祉法人が連携して、その課題解決に取り組む体制づくりを進めてまいりました。

また、福岡県内の社会福祉法人が連携・協働した生活困窮者等支援「ふくおかライフレスキュー事業」を柱に、制度の狭間にある地域生活課題の解決に向けて取り組みました。

【法人連携による公益的活動】

- ・生活困窮者支援（食料及び生活用品等支援事業）
- ・子育て世帯支援（子育て用品等リユース事業）
- ・災害支援（災害ボランティアセンター運営支援）
- ・ふくおかライフレスキュー事業による生活困窮者等支援 など

2. 地域福祉事業

誰もが安心して暮らすことができる「ふくしのまちづくり」を基本理念とし、住民とともに関係機関等と連携を図りながら、地域福祉活動の推進、充実に取り組みました。

(1) 地域福祉活動計画に基づく地域福祉の推進

広川町の第2期地域福祉計画と連携する第2期広川町地域福祉活動計画に基づき、広川町における効果的な地域福祉の推進に取り組みました。

(2) 地域包括ケアシステムの構築、地域共生社会の実現に向けた取り組み

①生活支援コーディネーター設置事業（町受託）

介護予防や生活支援に取り組む様々な主体との連携・協働による支援体制の構築を進めるため、生活支援コーディネーターを設置し、地域資源の把握やニーズ分析を行い、高齢者等の介護予防・生活支援の基盤整備に取り組みました。

令和5年度は、多様な主体との協働による「買い物支援」の継続・拡充、生活支援ボランティア「くらしのサポーター『くらサポ』」による生活課題の解決など、住民主体の地域福祉活動の推進に取り組みました。

■移動店舗販売実施地域（令和6年3月31日現在）

上広川（8）	逆瀬谷、鬼ノ淵、馬場、内田、一応、吉常、長延上、長延下
中広川（13）	太原、高間、清楽茶屋、清楽、高間、久泉（新）、増永、扇島（新）、太田、吉里、長徳、緑ヶ丘、北新代
下広川（4）	牟礼、当条、智徳、藤田
合 計	24 行政区 31 箇所

（協力事業所）エフコープ生活協同組合、移動スーパーとくし丸

■くらしのサポーター「くらサポ」

相談件数	30 件	福祉課・包括 10 件、本人 8 件、医療機関 8 件、在介 2 件、民生委員 2 件
活動（支援）件数	216 件	ごみ出し 179 件、掃除 24 件、洗濯 11 件、草取り・剪定 2 件
利用登録者数	20 名	90 代 2 名、80 代 8 名、70 代 6 名、60 代 2 名、50 代 1 名、20 代 1 名
登録サポーター数	19 名	新規 1 名

■くらしのサポーター養成講座

開催日	開催内容	参加人数
令和5年 8月25日（金）	「つなぐ、つながる人と社会～安心して暮らせる広川町をめざして～」 講師：九州大谷短期大学 福祉学科 学科長・教授 中村秀一 氏	14 名
令和5年 8月30日（水）	「私が認知症になっても暮らしたい地域づくり」 講師：広川町社会福祉協議会 認知症地域支援推進員 高鍋拡美 氏	13 名
令和5年 9月5日（火）	「え、実は私もそうなのよ～安心し合える声の形～」 講師：あそびの工房もくもく屋 事務局長 田川雅規 氏	10 名

②認知症施策総合推進事業（町受託）

認知症の人とその家族等が、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民や様々な専門機関と連携した支援体制づくりに取り組みました。

認知症理解の普及啓発	8 回	町内小中学校、JA 女性部、地域サロン、民児協、お話しの会きらら、くらサポ 他
延相談件数	144 件	



くらしのサポーター養成講座



認知症理解の普及啓発

（３）高齢者福祉の推進

①高齢者いきいきサロン支援事業（町受託）

住民主体の寄り合い活動であるサロン活動を支援し、地域の居場所づくり、住民同士のつながりづくりの推進に取り組みました。

■サロン活動実施地域（令和 6 年 3 月 31 日現在）

上広川（9）	逆瀬谷、梯、鬼ノ淵、馬場、内田、一応、吉常、六田、長延上・下
中広川（15）	太原、高間、清楽茶屋、清楽、久泉、増永、扇島、太田、吉里、川瀬、長徳、古賀、川瀬北、緑ヶ丘、北新代
下広川（3）	牟礼（新）、智徳、一條
合 計	27 サロン

②ふれあいいきいきサロン・地域通いの場助成事業

高齢者等の閉じこもり予防や地域のつながりづくりを目的としたサロン活動、高齢者の転倒予防や筋力低下を予防することを目的とした通いの場の運営、立ち上げ等にかかる経費に対し、財政支援を行い、更なる活動の充実に取り組みました。

助成金種別	助成額	備 考
サロン活動運営費助成	1,015,500 円	逆瀬谷、梯、鬼ノ淵、馬場、内田、一応、長延上・下、太原、高間、清楽茶屋、清楽、久泉、増永、扇島、太田、川瀬、長徳、古賀、牟礼、智徳、一條 計 21 サロン
サロン活動新規立ち上げ時助成	50,000 円	牟礼 計 1 サロン
サロン活動備品購入助成	50,000 円	清楽 計 1 サロン
通いの場運営費助成	294,000 円	長延上・下、久泉、当条、一條、藤田 計 5 通いの場
合 計	1,409,500 円	

③介護予防・地域支え合い事業（町受託）

住民主体による介護予防（健康維持・筋力低下の予防）の取り組みを進めるため、地域や介護予防サポーターと協働し、地域通いの場の創設・充実に取り組みました。

■介護予防活動「地域通いの場」

上広川（1）	長延上・下
中広川（1）	久泉
下広川（3）	当条、一條、藤田
合 計	5 通いの場

④高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

シニア世代が健康で生きがいを持ち、豊かな経験や知識・技術を活かして積極的に社会参加できる環境づくりを目的とした研修等を開催いたしました。

■スマホ講座

開催回数	開催内容	実施地域	参加人数
13 回	・ スマホの基本操作 ・ インターネット、カメラ、地図検索機能の使い方 ・ 文字の入力、メールの送り方 ・ 「ZOOM」の設定と使い方 ・ マイナンバー登録、マイナポイントに関すること ・ 「LINE」の設定と使い方 ・ マイナンバーの予約、申請	六田、吉常、太原、清楽茶屋、久泉、増永、吉里、長徳、緑ヶ丘、牟礼、はなやぎの里	延 103 人

講師：NTT ドコモショップ八女店 様

※広川町教育委員会中央公民館との共同企画として実施

⑤合同金婚式の開催（第 44 回）

結婚 50 周年を迎えられたご夫妻をお祝いするため、「合同金婚式」を開催いたしました。

開催日	開催会場	参加人数
令和 5 年 11 月 2 日（金）	料亭 扇屋（広川町太田）	26 組



サロン活動



スマホ講座

(4) 当事者課題への支援

①家族介護教室事業（町受託）

介護に役立つ知識や技法の学習、介護予防や介護者の健康づくり、介護者同士の交流を目的とした「家族介護教室」を開催しました。

■家族介護教室

開催日	開催内容	参加人数
令和6年 1月19日（金）	知っ得！みんなの暮らし講座① テーマ『介護の基本』～住み慣れた場所でいつまでも～ 講師：九州大谷短期大学 森永牧子 氏、小川理紗 氏	23 名
令和6年 1月26日（金）	知っ得！みんなの暮らし講座② テーマ『排泄ケア』～安心・爽快！！大人の紙おむつ～ 講師：大王製紙株式会社 川上幸奈 氏	23 名
令和6年 2月9日（金）	知っ得！みんなの暮らし講座③ テーマ『介護者のリフレッシュ』～ほっと一息♡心身ともに健康で～ 講師：九州大谷短期大学 森永牧子 氏、塚本真由美 氏	22 名

会場：広川町保健・福祉センターはなやぎの里 3階 多目的ホール

②認知症カフェ運営事業（町受託）

認知症の人やその家族、福祉や医療の専門職、地域住民などが、気軽に集える場として「なのはなカフェ」を開催しました。参加者同士の情報交換や専門職への相談等を通して、認知症の人やその家族が暮らしやすい地域づくりに取り組みました。

■認知症カフェ「なのはなカフェ」の開催

開催回数	13 回	
延参加人数	75 人	介護者 20 人、介護 OB37 人、当時者 11 人、一般 6 人、事業所 1 人

③ひとり親世帯親子招待会の開催

ひとり親家庭の孤立予防と、親子の思い出づくりを目的に、「ひとり親世帯親子招待会」を開催いたしました。

開催日	開催内容	参加人数
令和5年 10月28日（土）	熊本県 阿蘇ミルク牧場、高森湧水トンネル公園	5 世帯 (12 人)

④車椅子貸与事業

日常生活で、一時的に車椅子を必要とする方に、介護負担・経済的負担の軽減を目的に、車椅子の無償貸与を行いました。

車椅子台数	12 台
貸与件数	34 件

（５）福祉教育・福祉学習の推進

すべての人が社会の中で、心豊かで幸せな生活を送ることができるよう、「ともに生きる力」を育む、福祉教育・福祉学習の推進に取り組みました。

■福祉教育の実施

開催日	開催内容	対 象
令和 5 年 6 月 22 日（木）	車いす体験からともに生きるを考える	中広川小学校 4 年生 110 人
令和 5 年 11 月 20 日（水）	アイマスク体験・車いす体験からともに生きるを考える	上広川小学校 4 年生 36 人

■福祉教育教材『ともに生きる』の配布

配布対象者	上広川小学校 5 年生、中広川小学校 4 年生、下広川小学校 5 年生
配布数	211 冊（上広川小学校 34 冊、中広川小学校 130 冊、下広川小学校 47 冊）



福祉教育（アイマスク体験）



福祉教育（車いす体験）

（６）愛のネットワーク活動助成事業

民生委員児童委員の地域福祉活動に対して助成金を交付し、地域の支え合い活動の推進に取り組みました。

（７）相談・支援事業

①広川町高齢者心配ごと相談事業（町受託）

日常生活上の様々な心配ごととの相談に応じ、福祉サービスの紹介、関係機関へのつなぎ等を行い、早期対応に取り組みました。

開催日数	25 日	毎月隔週水曜日（9：00～15：00）
相談件数	5 件	相談内容：生計 1、年金 1、住宅 2、家族 1、人権・法律 1、財産 2、その他 1

②生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支援し、地域での生活と社会参加を図ることを目的とした貸付制度の申請・相談窓口として、関係機関と連携した支援に取り組みました。

また、新型コロナウイルスに係る生活福祉資金特例貸付の償還等相談支援窓口として、本則における生活福祉資金と合わせて相談支援に取り組みました。

■通常貸付

申請受付件数	6 件	緊急小口 6 件
--------	-----	----------

■新型コロナウイルスに係る生活福祉資金特例貸付の償還等相談支援 (生活困窮者世帯等相談支援事業)

相談件数	163 件
相談内容	①お金・負債 97 件 ②仕事 92 件 ③病気・体調 4 件 ④住まい 6 件 ⑤家族・孤立 1 件 ⑥その他（償還相談・食料支援他）158 件

③日常生活自立支援事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどで、判断能力が不十分なため、日常生活でお困りの人が地域で安心して生活できるよう、福祉サービスの利用援助や日常の金銭管理の支援に取り組みました。

新規契約者	4 人
支援者数	7 人

④生活困窮者緊急食料支援事業

生活資金に困窮し食料支援が必要な人、生活福祉資金特例貸付相談者、ひとり親世帯、地域食堂実施地域等への食料支援・提供を行いました。

また、備蓄食料は、様々な団体や企業、地域の皆さまにご協力いただき、安定的な供給体制の構築に取り組みました。

食料支援件数	364 件	延 343 世帯、延 21 団体
食料協力件数	161 件	一般 55 件、フードバンクくるめ 15 件、医療・社会福祉法人 17 件、JA ふくおか八女 2 件、JA 直売所よらん野 72 件



食料・生活用品等協力（JA 女性部様）



食料・生活用品等協力（地域）

3. 在宅福祉サービス事業

住民の在宅生活を支えるため、在宅福祉サービスの提供に取り組みました。また、関係機関と連携し、サービス調整を図りながら、総合的なケア体制の充実に取り組みました。

(1) 介護保険事業

①居宅介護支援（ケアマネジメント）事業

介護保険法に基づき、ケアマネジャーによる介護相談、ケアプランの作成、適切な在宅福祉サービスの利用支援、各種在宅福祉サービスの申請代行等に取り組みました。

事業種別	延利用者数	前年度比
介護予防	12 人	△22 人
介護保険	524 人	△156 人

②訪問介護（ホームヘルプ）事業

介護保険法に基づき、訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問し、身体介護、家事支援、生活等に関する相談、その他日常生活上の必要な支援に取り組みました。

※本事業は、令和 5 年 9 月末日付で廃止手続きを行いました。

事業種別	延利用者数
介護予防	46 人
介護保険	32 人

※令和 5 年 4 月～9 月期の集計

③通所介護（デイサービス）事業

介護保険法に基づき、デイサービスにおいて、日常生活上の支援や生活機能訓練等を行い、利用者の心身機能の維持向上と、家族介護者の支援に取り組みました。

事業種別	延利用者数	前年度比
介護予防	460 人	174 人
介護保険	2,785 人	△716 人

(2) 障害者総合支援事業

①居宅介護（ホームヘルプ）事業

障害者総合支援法に基づき、障害福祉サービスの支給決定を受けた障がい児・者に対し、訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問し、身体介護、家事支援、生活等に関する相談、その他日常生活上の必要な支援に取り組みました。

※本事業は、令和 5 年 9 月末日付で廃止手続きを行いました。

延利用者数
18 人

※令和 5 年 4 月～9 月期の集計

(3) 町受託事業

① 広川町介護予防教室いきいき元気教室事業

健康体操や認知症予防の脳トレ学習、レクリエーションを楽しみながら行う通所型の介護予防教室を実施し、高齢者の閉じこもり予防、生きがいをづくりに取り組みました。

延利用者数	前年度比
3,578 人	△275 人

② 広川町生活管理指導員派遣（ホームヘルプ）事業

在宅での家事等が一時的に困難な人に対し、訪問介護員（ホームヘルパー）が訪問し、日常生活の支援に取り組みました。

延利用者数	前年度比
250 人	53 人

③ 広川町産前産後家事代行等サポート事業（新規）

妊娠中及び産後（一歳未満）の期間において、日常生活の家事や育児に支援が必要な家庭に対し、サポーターが訪問し、必要な支援に取り組みました。

登録者数	5 人
サービス提供回数	5 回

④ 広川町在宅介護支援センター運営事業

在宅で介護が必要な人、ひとり暮らしや認知症等で暮らしに不安がある人、またその家族からの介護相談に応じ、福祉サービスの紹介、関係機関へのつなぎ、各種福祉サービスの申請代行等の支援に取り組みました。また、ひとり暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯の実態把握のため訪問を行い、高齢者の生活課題の早期発見・早期対応に取り組みました。

相談実件数	382 件	
実態把握件数	354 件	訪問把握 91 件、その他参加等確認 263 件

⑤ 広川町介護予防事業等アセスメント事業

広川町が実施する介護予防事業等の利用申請者において、各事業の要綱に規定する対象者として決定するための聞き取り調査（事前評価：アセスメント）を実施いたしました。

アセスメント件数	17 件	いきいき 14 人、生活管理 3 人
----------	------	--------------------

4. 指定管理経営事業

広川町保健・福祉センターはなやぎの里の指定管理者として、施設・機能の充実による利用の促進を図るとともに、適正な管理・経営に努めました。

■利用実績（休憩室・入浴・健康器具利用者、貸会議室等利用件数）

利用種別	利用者数	前年度比	備 考
休憩室・入浴・健康器具	7,600 人	△291 人	町内 6,992 人、町外 608 人
貸会議室	872 件	△13 件	
令和 5 年 7 月豪雨災害 被災者への入浴無料措置	85 人	—	令和 5 年 7 月 14 日～7 月 31 日

5. ボランティア活動促進事業

広川町における総合的なボランティア活動の推進を目的に、広川町ボランティア活動センターの運営、災害ボランティアに関する事業等に取り組みました。

（１）ボランティア活動センター事業

ボランティア活動の推進拠点として、ボランティア活動センター「よかよか」の運営を柱に、ボランティアの育成、普及啓発、相談支援等に取り組みました。

■ボランティア活動センター運営実績

開館日数		243 日
ボランティア団体登録数		31 団体
個人ボランティア登録数		14 人
目的型ボランティア 登録数	くらしのサポーター「くらサポ」	19 人
	災害ボランティア	個人：16 人、団体：3 団体
利用者数（来館者数）		646 人
ボランティアコーディネート件数		32 件
相談件数		261 件

■ボランティア保険等加入実績

ボランティア保険	109 件	活動保険 71 件、行事用保険 34 件、福祉サービス総合補償 2 件、 送迎サービス補償 2 件
----------	-------	--

（２）災害ボランティアセンターに関すること

令和 5 年 7 月豪雨災害の発生に伴い、自治体との協定に基づく公設の災害ボランティアセンターの設置運営に取り組みました。

また、近年頻発する大規模な自然災害において、社会福祉協議会が円滑に被災者の暮らしの復旧・復興支援に取り組むため、令和 6 年 3 月に筑後市・大川市・大木町・広川町・福岡県社協の 5 社協間において、「中筑後地区社会福祉協議会災害時相互支援協定」を締結し、管内被災地社協への職員派遣や資機材貸与等支援、その他必要な事項の協議検討等を進め、広域における災害支援ネットワークの構築に取り組みました。

■令和5年7月豪雨災害における災害ボランティアセンター運営実績

開設期間	令和5年7月12日～9月10日
ボランティア団体登録数	39団体 435名
ボランティア個人登録数	534名
ニーズ受付実績	97件
ボランティア活動実績	延活動件数198件、延ボランティア数1,372人
閉所後の活動実績	延活動件数9件、延ボランティア数54人

■災害支援ネットワークの構築

令和6年 3月3日（日）	中筑後地区社会福祉協議会災害時相互支援協定締結式 中筑後地区災害ボランティアセンター設置運営訓練
令和6年 3月26日（火）	広川町社会福祉協議会とUCILab.との連携による共同実証実験に関する協定締結



災害ボランティアセンター



災害時相互支援協定締結



災害ボランティアセンター設置運営訓練



災害支援に関する共同実証実験連携協定締結

6. 福祉関係団体支援事業

福祉関係団体と連携を図りながら、よりよい「ふくしのまちづくり」を目指して、福祉関係団体の活動支援、協働体制づくりに取り組みました。

■ 支援団体の概要

団体名	委員数・会員数
広川町民生委員児童委員協議会	40 名
広川町老人クラブ連合会	1,885 名
広川町身体障害者福祉協会	65 名
広川町遺族会	164 名
広川町心身障害者（児）父母の会	13 会員家族
広川町母子寡婦福祉会	50 名

7. 広報・啓発活動事業

地域福祉の情報が効果的に得られるよう、広報誌やホームページ、福祉イベントへの参加など、様々な手段を用いて広報の充実に取り組みました。

方 法	内 容
『広川町社協だより』	6 月、11 月、12 月、3 月の年 4 回発行（全戸配布） ※災害対応のため、時期を変更して発行いたしました。
『広報ひろかわ』	寄付等報告、各種事業・企画の開催案内 など
社協ホームページ	新着情報、各種事業の概要、各種申請 URL hirokawashakyou.jp
SNS（facebook）	新着情報、地域活動の紹介 など URL facebook.com/hirokawashakyou.fukuoka/
広報テープ貸与	朗読ボランティア広川テープの会及び個人ボランティアの協力により、『広報ひろかわ』『社協だより』『議会だより』を音訳・録音し、視覚障がいのある人への貸出を実施